

より多くの人に

フロンティアは開始 14 年目、地元の海外赴任の準備に対応する努力を続けたら、いつのまにか早期英才教育として機能するようになり中・高で英検準 1 や 1 級もスタンダードになってきました。来年から小学校で英語が始まるにあたりより多くの生徒が会話に参加できるよう新年度より

スタンダードとベーシッククラス

をスタートさせます。

入りにくいって本当？

生徒の伸びが結構早いので、小学校高学年の英語のビギナーが小 1、2 のクラスに入るような状況になり、本人も周りもしっくりいかないようです。そうした状況から、あそこは入りにくいし難しい等の評判と教室の目指す

やりたい子は思いっきり伸ばしてあげたい

という目標と合致せず、あたかも最初から「門前払い」のような印象を与えてしまうことを改めたいと思います。



ちょっぴり心配な小学校？

中学は思春期の自己表現をためらいがちな時期ですが、小学生はまだ楽しく会話を弾ませることができる純真さがあるのにクラス編成は

レベル別にしない

そうです。NOVA やイーオンでもレベル別だし韓国や中国もレベル別で、大人はレベル別でない英会話に行かないと思います。豊田やみよしではレベル別にしなかった場合、英検 2 級くらいのペラペラの帰国子女は退屈し、初心者はずぐについていけなくなる事が予想されます。全国的に見ても学習レベルが高いと言われる三好ヶ丘ですら、英会話で進む授業が始まったのははここ 1、2 年で平成の 27 年間文科省の目指す

英会話の授業がなされなかった

のです。かつての日本の花形産業の家電通信が、現在存続がギリギリになったのは英語教育の不十分さに原因があると言われることがあります。自動車は何としても同じ事が起きないようにしたいものです。

少しでもインフラット

今からできることは

少しでもインフラットをしておく

ことです。中学生は帰国子女がペラペラやるとシカとされたりしますが、小学校はまだ、遠慮がないから、初心者はドンドン引き離されてしまう可能性があります。



間に合うのか？

もともと小学校英語の開始後様子を見てから標準クラスをスタートする予定でしたが、小学校のクラス別にしない取組は

経験の少ない生徒がすぐにわからなくなる

可能性が大きいのです。フロンティアはつい1、2か月前に独自のメソッド

バンブーメソッドを完成

させました。大人の世代の英語は英会話もほとんどありませんでしたが、学習の取組がいつも、明日や来週の分の予習をしてレッスンを受けていたと思います。ところがフロンティアはテキストの先取り暗唱を1年分、2学年ぶん続けることにより、暗唱は少しずつ難しくなりますが、並行して学習する英会話が

ドンドン簡単に思われる状態が続く

ために話せるようになります。

へっ！うそだ！そんなシンプルでイイの？

と聞かれますが

Seeing is Believing(論より証拠)

です。一度やってみては。



暗唱をドンドン先に進める

英会話って簡単！

